

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度第2回四條畷市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	令和6年2月29日(木) 14時00分～14時45分
場所	市役所東別館302会議室
議題	(1) 令和6年度地域包括支援センター活動方針(案)及び活動計画(案)について (2) 令和6年度地域包括支援センター歳出予算(案)について (3) その他 連絡事項
介護の公開・非公開	公開
出席者	小寺委員、藤関委員、高橋委員、藤谷委員、湯元委員、網城委員、田中委員、青山委員、出来田委員
欠席者	埴委員
事務局出席者	健康福祉部次長兼高齢福祉課課長 大塚、高齢福祉課課長代理 西端、主幹 小川、主査 寺尾、久和
会議資料	資料1 令和6年度地域包括支援センター活動方針(案) 資料2-1～3 令和6年度四條畷市地域包括支援センター活動計画(案) 資料3 令和6年度四條畷市地域包括支援センター歳出予算(案) 参考資料 四條畷市地域包括支援センター運營業務委託仕様書【一部抜粋】 参考資料2 令和6年度地域包括支援センター収支予算書
傍聴人	0人
その他(備考)	案件1の活動計画(案)の説明のため地域包括支援センター受託法人の代表者を招集
発言者	議題・発言・協議結果等
会長	【開会】 【案件1】 ○地域包括支援センター活動方針(案)について事務局から説明 くすのき広域連合解散となり、より地域の実情に応じてセンターの活動がなされると思うが、地域課題について、地域住民や地域の専門職と検討する場として、地域ケア会議とあ

	<p>るが、何か具体的話しあいになっている地域課題というのは今あるのか？</p>
事務局	<p>くすのき広域連合の元で地域包括支援センターの運営を行ってきた。地域課題の抽出は続けてきたが、まだ地域分析からの具体的な推進にはつながっていない。この度圏域が変わることで、再度地域の実情の把握からと考えている。</p>
委員A	<p>「断らない」相談対応とはどういうことを想定しているのか。</p>
事務局	<p>断らないという意味は、幅広くという意味。高齢者による地域包括への総合相談以外にも、困難事例として障がいを抱える人や8050に含まれるような困窮相談などを一度受け、適切な支援機関へ繋いでいく。振り分けていく。</p>
委員A	<p>今回圏域が変わることで、すごく混乱する方がおられるだろう。他市の事業者連絡会で出たことであるが、他市の病院から退院時に包括に連絡を入れたら、圏域うちじゃありませんと断られたことがあると聞いたので、それを想像した。</p>
事務局	<p>圏域の変更に伴う地域住民の混乱を最小限にしたいので、受託してもらう法人にも、圏域を越えて相談があった場合も一旦は相談を受けてもらい担当の地域包括支援センターへ繋いでもらうように対応をお願いしている。</p>
委員B	<p>前回の課題で各圏域の南側が手薄になるのではないかとあったが、それで出張相談会になっているのだと思う。これは場所を借りて定期的実施するものなのか、不動産で1つ物件を押さえてのことなのかでいうと、前者か。</p>
事務局	<p>圏域を変更したことにより圏域内に必ずしも事務所があるわけではない状況がある。受託法人には出張相談会を定期的実施してもらうように依頼している。後ほど、各包括からの活動計画で説明があるが、活動計画に入れてもらっている。</p>
にし地域包括支援センター 志村管理者	<p>○地域包括支援センター活動計画（案）について 特に取り組みたいこと ① 支援困難ケース（地域に潜在する個別の支援困難ケース、地域で個別に抱えているケース）を地域住民との地域ケア会議を行い、解決策をともに考えていくことを想定しており、校区全14自治会で1回は、会議か出前講座を顔見せ、顔なじみになる関係づくりの観点からもあわせて実施して、地域課題を見出してそれぞれについて検討していきたい。</p>

<p>なわて地域包括支援センター 高垣管理者</p>	<p>② 介護予防拠点の開発。地縁による繋がりが強いのが四條畷の強みだが、それに属さない人々に関しても漏れがないように、通いの場の活動内容が一見してわかるように作成しているわくわくマップを整えていきたい。よろかにランチ機能として包括職員が随時出張し、気軽に立ち寄れる相談所を設置していきたい。</p> <p>重点的に取り組むこと</p> <p>① 地域のケアマネが抱える課題などを地域課題として共通認識とできるように、地域ケア会議だけでなく、小さな単位での話し合いを会議にこだわらず行っていく。その中で権利擁護に関するマニュアル作りも意識していきたい。</p> <p>② 地域ケア会議については、各地区を回っていく中で、地域住民や民生委員、地区福祉委員と接点を持ちながら地域課題を抽出して話し合っていきたい。</p> <p>③ 口腔栄養について今年度から実施している。住民を巻き込んで、今男性のための栄養講座と調理教室を兼ねたものを実施できたらいいなと企画している。</p> <p>④ 出張相談は3か所（楠風荘、総合センター、ハニコウム）拠点を設置予定。今後増えていく可能性もあり。ほぼ毎月どこかで実施予定。</p> <p>⑤ 通いの場が少ない現状がある。生活支援コーディネーターと連携し、実情を把握していきたい。</p> <p>⑥ 認知症サポーターステップアップ講座に主軸を置き、認知症サポーター養成講座を受講した方が受講し、さらに地域の活動の担い手になってもらえるように講座内容を意識して作っていきたい。介護している家族に向けて、適切な介護方法や介護に関することや認知症に関する知識などの教室を開催したい。</p>
<p>たわら地域包括支援センター 吉川管理者</p>	<p>① 山間部で勾配が多く、買い物や通院、通い場など移動の支援について課題となっており、家族全体の支援が必要な方や地域で孤立する方などが増えてきている。地域ケア会議を活用し、地域課題の把握、解決に向けて地域と連携しながら地域包括化システムを強化していく。特に力を入れているのが、民生委員や地区福祉委員、自治会関係、施設関係、コミュニティーソーシャルワーカー、社会福祉協議会、生活支援コーディネーターを含めたたわら地域連携会議を行い、そこで出た課題をたわら地域交流会という形でケア会議を開催。ICTを活用した自立支援検討会議に力を入れていく。</p> <p>② 認知症本人や家族からの相談が増えてきている。認知症が重篤化してからの相談もあり、認知症についての啓発、周知も課題。認知症本人も家族も孤立化せず、安心して過ごせたり、認知症についての啓発が定期的にできる場所づく</p>

	<p>り、住み慣れた地域でともに暮らしていけるまちづくりを行う。特に力を入れているのが、地域で開催しているオレンジカフェたわらの開催。介護者家族の自宅で開催する自宅でオレンジカフェ。啓発としては、認知症サポーター養成講座やサポーターステップアップ講座、田原小3年生向けのキッズサポーター養成講座に力を入れていく。小学生が今後中学高に広げていけたらとまた相談して始めていけたらと思っている。</p> <p>③ コロナ禍や閉じこもりがちになって、フレイル増加が増えてきている。男性高齢者から交流できる場所づくりがほしい、独居高齢者が看取りや認知症に対する不安の訴えが多くなっている。そういった中で、地域に向けたフレイル予防の取り組みや生活支援コーディネーターと協力して担い手や通いの場づくり、自立支援と重度化防止を進めていく。特に力を入れているのが、屋外型介護予防教室たわらウォーク、男性集いの場、独居高齢者が自宅に集まって認知症の不安や看取りについて話せるおひとり様の会、自治会と協力してたわらフェスを開催し、出前講座とか担い手と通いの場を増やす活動に力を入れていきたい。通いの場マップがたわら地域にあるので、マップの数もまた増やしていけたらと考えている。</p>
<p>委員C</p>	<p>医療介護連携推進協議会の委員をさせていただいています。今なわて地域包括支援センターの活動方針に口腔栄養のこと盛り込んでいただきありがとうございます。活動方針の中に、裏面の医療介護連携推進のところの目標値のところ延命治療について話し合ったことがあるデータ数値は60%以上と書いていただいているが、当歯科医師会としては、行政とタッグを組むのであれば、成人歯科検診が20歳30歳と節目に70歳までであるが、75歳以上は後期高齢者歯科検診を行っており、介護予防につながるオーラルフレイルの部分の啓発に繋がりますから、細かい数字は忘れたが、そこを目標値に持って行って、受診者を増やしていただくと口腔栄養の啓発にも多少寄与できるかなと思いますので、歯科医師会から数値を入れていただけたらいいかなと言わせていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>委員D</p> <p>にし地域包括支援センター 志村管理者</p>	<p>通いの場のマップを新しい圏域になったら見たいと思っているが、いつぐらいに完成する予定なのか。</p> <p>今の圏域では既に作成済み。新しい圏域でも取り組んでいる。見本としてよろしければ「スマイルドンキー」という認知症サポーターの団体で作っているホームページにリンクがあり、わくわくマップという項目を検索すると、3圏域全て出てくる。かなりバージョンアップしており、文字だけでは</p>

	<p>そこに行ってみたいか感じるできないのではないかとの意見から QR コードを読み取ると、その風景の写真も出るようになっていく。わくわくマップを作るボランティアの方が 70 代、80 代の方々なので、QR コードをその年代の方も使いこなせる時代になるのではないかと。もちろん紙媒体もあるので、各包括支援センターに声をかけてもらえばお渡しできます。</p>
委員 A	<p>各包括支援センターに活動計画を立ててもらっているが、第 2 層コーディネーターの方の動きも入っているが、圏域ごとに課題が違ったり、求めるものが変わってくると思うが、その中で、私たちは 1 つの圏域だけのご利用者があるわけではなく、全域にいて、1 人のケアマネージャーが市内の方を担当しているの、にしにあってなわてにないなどそういった部分がなかなかないように、3 包括が協力してある程度市内では相談できるようにしていただきたい。</p>
会長	<p>活動方針及び活動計画については案のとおりとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
会長	<p>案のとおりとします。次に案件 2 に移ります</p>
事務局	<p>【案件 2】 地域包括支援センター歳出予算（案）について事務局より説明</p>
会長	<p>何もないようなので、歳出予算案のとおりで行きたいと思えます。</p>
事務局	<p>【その他】 ・令和 6 年度のスケジュールについて 第 1 回目は 10 月頃。令和 6 年度上半期の実績について。 第 2 回目は令和 7 年 2 月頃。次年度の活動方針および活動計画について。</p> <p>【閉会】</p>